

平和祭協賛

法務省委託事業

ヒューマンシネマ 2026

とき

8月8日(土)

ところ

ガレリアかめおか
1階 響ホール

8月を亀岡市は平和月間、京都府は人権強調月間としています。すべての人が、お互いを認め合い、幸せを感じながら生きることができる平和な社会は、みんなの願いです。命の尊さ、平和の大切さをあらためて考える機会として映画上映会を行います。ご友人やご家族などと一緒にご参加ください。

その手紙は、
精一杯の愛でした。



『35年目のラブレター』

(C) 2025 『35年目のラブレター』製作委員会

監督・脚本：塚本連平

原案：『35年目のラブレター』小倉孝保 著（講談社） 出演：笑福亭鶴瓶、原田知世 ほか

13:00
開場

心温まる感動の実話

読み書きできない夫と幸せを教えてくれた妻が歩んだ人生

同時上映
アニメ

9:30
開場

『うみとりくのからだのはなし』[16分]

ふたごの「うみ」と「りく」を通して、自分のからだを大切にすることや相手を思いやる気持ちを優しく学べるアニメーションです。

『野生の島のロズ』[102分]

アカデミー賞でも注目を集めた話題作！！

無人島に流れ着いた最新型アシストロボットのロズが、野生の島の動物たちと関わりながら“心”を育んでいく物語です。

自然の美しさや命のつながりが丁寧に描かれ、笑いと感動の両方を味わえる温かな作品です。

(C) 2024 DreamWorks Animation LLC. All Rights Reserved.



入場無料（当日受付）
定員200名（先着順）

※定員を超えた場合は、受付を終了する場合があります。

上映スケジュール

午前の部 9:30開場 ▶10:00上映開始

『うみとりくのからだのはなし』

[16分]（人権啓発アニメ）

『野生の島のロズ』[102分・日本語字幕付]（アニメ）

午後の部 13:00開場 ▶13:30上映開始

『35年目のラブレター』

[120分・日本語字幕付]

ヒューマンシネマ 2026



午前の部 9:30開場

上映作品の紹介

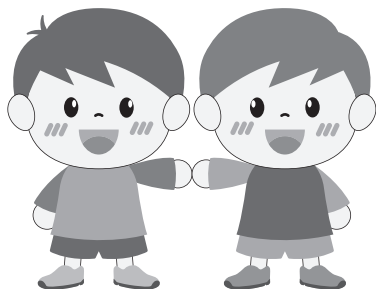
【うみとりくのからだのはなし】

10:00～（人権啓発アニメ）【16分】

ふたごの「うみ」と「りく」はそっくりだけど、全然違う。

りくはお母さんになでられるのが好きだけど、うみはなでられるのが苦手。

そんな2人と一緒に、みんながそれぞれのからだを大切にするためには、どうしたらよいのか、相手を思いやる大切さや、からだを守ることについて考えた作品です。



【野生の島のロズ】

10:20～（アニメ）【102分・日本語字幕付】

偶然にも無人島に流れつき、目を覚ました最新型アシストロボットのロズ。野生の島をさまよう中で、動物たちの行動や言葉を学習し、次第に島に順応していきます。

そんなある日、小さなガンのヒナを育てることをきっかけに仲間や家族の大切さを学び、動物たちと出会いながら少しずつ「心」を育んでいく心温まる作品です。



(C) 2024 DreamWorks Animation LLC. All Rights Reserved.

午後の部 13:00開場

【35年目のラブレター】

13:30～【120分・日本語字幕付】

十分な教育をうけることができず、文字の読み書きができない西畑保と、いつも彼のそばにいる最愛の妻・饺子。ほとんど学校に通えないまま大人になった保は、生きづらい日々を過ごして来ました。やがて饺子と出会い結婚しますが、その幸せを手放したくないばかりに、読み書きできないことを彼女に打ち明けられずにいました。ついに事実が露見し別れを覚悟する保でしたが、饺子は「今日から私があなたの手になる」と告げます。

定年退職後に夜間学校へ通いはじめ、どんな時も寄り添い支えてくれた饺子に人生初のラブレターを書くため努力する保。そのひたむきな姿と、35年にわたる2人の愛に心を打たれる感動作です。



(C) 2025『35年目のラブレター』製作委員会